



ウイルスが自然に選択された結果なのです。

一方では、人と人との距離を取り、できるだけ感染しないようにすれば、最初に出てきたウイルスは行き場がありません。そうしますと、このようなウイルスは早々と死滅します。あとから遅く出てきたウイルス、人が感染から回復しつつあるときに出てきた、つまりのんびり増殖したウイルスは、人はもうすでに元気になりつつあるので、たまたま近づいてきた人に感染す

ることがあります。このような状況だと、増殖の遅い、どちらかという人間に深刻な症状を起こさないウイルスが選択されてきます。こういうふうにと考えると、人間の行動によって、感染症の状況も変わってくると言うことになり、やはり、できるだけ感染を広げないようにして感染者を増やさないようにするのが、もっとも有効な手段というわけです。

〈院長(兼臨床研究部長)谷口 清州〉



異動のごあいさつ (2021年4月1日付)



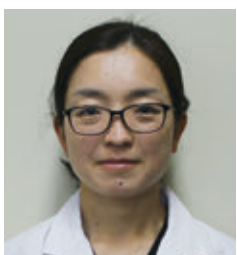
●小児科 山田 慎吾 先生

約1年ぶりに再度三重病院に戻ってまいりました、山田慎吾と申します。医師としては10年目という節目を迎えました。出身は奈良

県、趣味はバスケットボールです。これまでに、県内のほぼすべての小児科病院を経験し、昨年度は名古屋にあり、ばんたね病院でアレルギーの研修を行いました。ばんたね病院で学んだ知識である、加工品による食物アレルギーの治療、かゆみが強くなかなかきれいにならないアトピー性皮膚炎に対する治療、などを患者さんに提供できたらと思います。

また家庭では二児の父として育児もしています。保護者の皆さんと育児の苦勞を共有し、大変さ、つらさ、そしてなによりも楽しさ、子供の成長の面白さ、も分かち合えたらと思います。些細なことでもいつでも相談してください(^^)

たくさんのお患者さんから、「先生、戻って見えたのですね、うれしいです。」と、お声をかけていただいて、こちらこそうれしい気持ちです。患者さん、保護者、そして三重病院の職員の皆様の力になれるよう、すこしでも皆さんをHAPPYにできるよう、頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします!!



●小児科 中本 牧子 先生

2021年4月から勤務させていただいております中本牧子と申します。出身は三重県ですが、十数年ぶりに三重に戻らせていただきました。6月末までの3か月間は急性期チーム、7月からはアレルギーを勉強させていただく予定です。今

後、地域のお子様のちからになれるよう、精進してまいります。新しい環境となりまだまだ慣れないことも多く、スタッフ、諸先生方々にご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



●小児科 岩井 郁子 先生

4月より三重病院に赴任して参りました岩井郁子と申します。

福井大学を卒業後、出身地である岐阜県で小児科医として勤務し、アレルギー診療の研鑽を積むため、三重病院で勤務させていただくことになりました。

初めての地で慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、

お子さんや保護者の方々に少しでも安心していただけるような医療を提供できるよう精一杯頑張りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



●小児科 金井 怜 先生

はじめまして。令和3年4月より三重病院に赴任することとなりました金井怜と申します。近畿大

学を卒業し、大阪で勤務しておりましたが、私自身が食物アレルギーなどのアレルギー疾患があり、アレルギーを勉強したく、三重病院で勤務させていただくこととなりました。不慣れなことも多く、スタッフの方にはご迷惑をおかけすることもありますが、お子さんや保護者の方に安心してもらえるような医療ができるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。

後、地域のお子様のちからになれるよう、精進してまいります。新しい環境となりまだまだ慣れないことも多く、スタッフ、諸先生方々にご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。